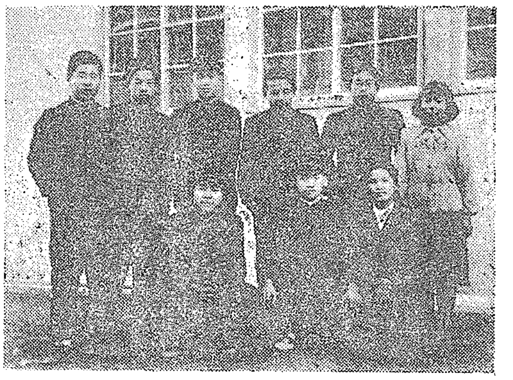
芦高新聞

發行所
蘆屋市宮川町
兵庫縣立
蘆屋高等學校出版部

お茶は
宇治銘茶
介園
省線驛前通り東

學園理想化を目指して
新執行部發足
蘆高自治にたくましい息吹き

今回から實施される事になつた改正規約に基き、從來よりも一ケ月早く改選される事になつた次期執行部は、去る十一月十二日の立候補受付から二十八日の承認に至る迄、周知の如く無投票故の波瀾もあつたが、前號發表の通り選擧、及び決定され、新執行部員九名の顏ぶれが揃つた。新執行部の就任式は、前役員の離任式を兼ねて、三日生徒大會に於て行なわれ、我等が代表は蘆高自治會の發展と新しき一年間の創造を目指して船出をした。尙新舊執行部の事務引繼は一日兩者和氣あいあいのうちに無事終了し、新執行部はその活動を開始した。



新執行部の陣容

會　長　山村耕造
副會長　月足脩二　美化
　　　　增山寬子　弘報
書記長　伊藤衛　新聞企画
執行委員　稻垣正治　庶務
　　　　伊藤生子　會計
　　　　太田久　外交應援
文化部長　上野宣
運動部長　金井尹

本來の職務の他に分擔される役目が、役員の協議によつて前記の如く定まり、それぞれ各方面の仕事に取り掛かつた。

新執行部の活動

新執行部では事務引繼終了後直ちに協議會を開き、今後の施政方針について各種討議を重ね、當面の問題に對する方針を決定し、早々その實行に着手した。先ず代議員會の開催を要求して、出版委員の改選の可決、放送委員會、應援團、議決方法等の承認と意見聽取を行つた。次に生徒全体のレクリエーシヨンと文化部活動の發表とを兼ねてレクリエーシヨン・デエイを計劃、その第一回の企劃として十二月二十日に、辯論大會とレコードコンサートを行う事に決定した。又、先生との懇談會に於て校內美化に關して數項の要請を行つた。その他事務は着々と進められている。

＝選擧終る＝

十一月十二日の立候補受付開始と共に新執行部役員選擧の火蓋は切られ、當日早くも月足、伊藤衛兩候補が屆出を濟ませて、選擧戰の活潑を豫想せしめたが、意外にも候補者は前半で全く出切つてしまい書記長及び執行委員はようやく定員を滿すのみという貧弱さであつた。十七日の立會演說は、豫想外に少なくはあつたが熱心な生徒を集めて開かれ、會長、副會長の椅子をねらつて華々しい舌戰が展開された。先ず平井候補が持前の度胸と敏腕で大いに鼻息の荒いところを見せれば、山村候補も負けず劣らずお得意の熱辯で滔々とまくし立てた。次いで月足候補が男子候補一人という有利な條件で悠々と抱負を述べた後、增山、小谷兩女子候補及び辯士の懸命な演說が場內を緊張させた。續いて質問にはいり、候補者一同の心膽を寒からしめたが、特に質問の集中された書記長候補の答辯はいささか精彩を欠いた。選擧運動期間中に於ても、一般に選擧熱は低調で緊迫した空氣は感じられなかつたが、八七・五%と、去年の成績を一割も上廻る投票率が出たのは幾分皮肉であつたが候補者の熱心な運動と生徒の眞面目さが反映したものとみてよかろう。

かくて二十八日生徒大會承認の運びとなつたが、書記長執行委員の無投票當選は規約に反するという立場から不承認の聲が出、これに對して選擧管理委員會の選擧方法に欠陷はないという說明が行なわれた。續いて承認にはいり、絕對多數をもつて新執行部は承認され、選擧戰にも幕が降りた。以下今回の選擧について二、三感想を拾つてみた。

二年S君　全く不活潑だつた。立會演說會も淋しかつた。無投票當選は例が少ないだろう。非常識な投票があつたのも自治會への關心の薄さを示すものだ。生徒は學園自治の增進に努力しなければならない。新執行部には生徒の意見を反映した政治と內的な發展への努力を望みたい。

三年O君　今度の選擧は低調の一言に盡きる。しかし會長選擧でわずか五十票の差で競り合つたのは見物であつたこのあたりに自治會への生徒の熱を見出したい。

二年T君　私は何か割り切れない一種の後味の惡さを感じる。承認のときの生徒大會では我々の疑問に對する選管委の說明は全く聞きとれなかつた。混亂狀態に於ける裁決には不安を覺える。我々がもつと自治會運營に注意を拂うと共に指導的立場の人々の反省を促したい。選管委が三年生にばかり頼つたのはだらしがない。

選管委としてYさんに聞くと眞面目に考えて、反對のための反對はしないで欲しい、選管委の不手際は重々お詫びするとの事であつた。

今度の選擧が無投票でしかも揉めたのは生徒の目覺め方が遲かつた爲と、選管委の熱の入れ方が足らなかつた爲ではなかろうか。この點蘆高自治會の爲にと張切つて立上がつた立候補者諸君には何の罪もないだけにいささか氣の毒であつた。

スポーツ短信

▽校內マラソン大會團体成績

恒例の校內マラソン大會は、前號記載の如く行なわれ、大いに蘆高健兒の意氣を盛んにしたが、その團体（ホーム・ルーム）成績が次の通り發表された。綜合得點は、參加得點が大きく左右し、この爲參加率の惡かつた三年生は、ほとんどのホーム・ルームがずらりと下位に並び、テール・エンドを爭つたのは全く不名譽な事であつた。十位迄の順位は

一位	二・D	八三・三
二位	二・F	八三・二
三位	一・I	八二・三
四位	一・J	八二・二
五位	二・B	八二・〇

以下一・H　二・A　二・H　一・B　一・Cであつた。

▽校內サツカー大會

先日來行なわれた校內サツカー大會の優勝戰は三BFチームと一BGチームとの間で爭われ、結局三BFチームが三對一と制勝、覇權を握つた

▽ラグビー部新チーム試合

三RF　3（2－1　1－0）1　一BG

▽硬式野球部三年生送別試合

蘆高　23－3　縣尼高
蘆屋　3－3　兵工
（日沒引分）

▽その他

訪れた寒波にもめげず、運動部活動は活潑である。冬に入つて、ウインター・スポーツが期待される。

放送委員會成る

新執行部では、連絡事項の徹底と自治會活動情況の完全滲透を期し、生徒諸君の關心を喚起して蘆高自治會發展の一助ともなす目標の下に、放送委員會を設置、委員長には弘報の增山さんが當ることになつた。二學期及び冬休み間は專ら放送企劃の研究にあて、來學期からその活動を始める事になつた。大いに期待して欲しいとは增山さんの辯である。尙放送委員は次の如く決定發表された。

水野、小谷（二・A）石川（二・C）西田（二・D）船井（・E）秋元（二・二G）（荏原）二丁

論說

期末考査をめぐる考察

いつの間にか期末考査の行なわれる頃となり、續いてクリスマスと新年という華やかな祝祭ばかりが詰め込まれた冬休みがやつて來る。早や冬休みの計劃をいろ〳〵とめぐらしながら、ともすれば外に逸れ勝ちな心に鞭打つて懸命に試驗と取組んだ人も多いであろう。まさに學期末考査は、各學期の最後の峠であり又最大の難關なのであるから、私達がこれに出來得る限りの力を注ぎ、これを最も重視することは當然である。又そのすぐ後の休暇にせい〴〵遊んで骨休めをしたいという氣持は大抵の人が持つものでありそういう望みがあるからこそ期末考査に勵みがつくのである。最も勉學に力を入れるべき二學期の後に、クリスマス正月等というお誂え向きの休暇が來るのであるから、今頃は特にそんな氣持が强いであろう。

しかしながら、學校にその一年の生活のほとんどを送つている學生が、年三回の休暇だけを慰めに勉强をしているという現狀が果してあり得べきものであるかどうか一顧考えてみる必要があると思う。學生の精神的狀態が、かゝる不健全なものであるという理由は、學生の無意欲、それに拍車をかけている當を得ない敎育制度、社會的環境等多くの原因があろうが、それをもう一つ不健全な狀態に陷し入れているのは期末考査ではなかろうか。私達に最も卑近なその問題に對して、もう一度檢討してみるのも決して徒勞ではないと思う。

先に述べた如く私達は各學期の成績評價に最高の割合で影響するものとして、學期末考査を極めて重視している。事實そうである事は誰しも否み得ないところで、通知簿というものがある以上、そして單位が取れなければ卒業出來ない以上、良い成績を取らんが爲に學生が期末考査を重視することは無理も無い話である。とすれば、學生の期末考査の結果の偏重と他の期間に於ける無氣力の原因の一半は期末考査に在る譯である。

ところで考査の目的というものは、學力に對する査定及び勉學の促進にあるのであるが先ずその前者をとつてみるに一學期間の努力と精進の結果を採點するというバロメータ的役割をなすべき期末考査がその前後の奮鬪如何に拘わつている等というのは甚だ不都合極まる事であつて茲に於て平素の努力はほとんど無視され、公平な査定から遠去かつている。更に、廣範圍多量の學習の結果を、たゞ一度の考査で決めるのが如何に危險であるかという事は考えるに難くない。

後者の目的を期末考査について考えれば、その不合理性は一段とはつきりする。何故なら、記憶が新しい程試驗に有利なのであるから、自然期末考査の爲の勉强はその直前に偏り、その現實性が迫つて來ない學期の初、中期はどうしても勉强に張り合いが無くなつて來るという、讚める事の出來ない結果を生じるからである。

又、期末考査の激しい勉强の反動が、休暇中の隙の多い心的狀態に作用して、學習と離れるようになり、そのまゝずる〳〵引きずられて個々の研究活動に大切な休暇を浪費し學期前には宿題に追われ果ては次の學期にはいつても授業がさつぱりわからないという自分が惡いだけに、泣くにも泣けない情無い事になつてしまうのである。

期末考査の欠點は主にそんなところであるが、それとても私達が到らない故にそうなつている割合も大きい。しかし蘆高千五百人全部が完全な學生となれない事は斟酌してもよいであろう。

又、期末考査の利點も少なくないし、全然廢止すべきものであるとも考えられない。だが、その採點に於ける比重をもう少し輕くするべきであるという論は認められてよいであろう。そして單に期末考査だけの問題でなく、無批判な試驗のための勉强を排して數字に表われる成績を度外視した、知識敎養の向上と人間性の涵養の爲の勉學へと、生徒及び先生が協力して持つて行かなければならない。それが眞の學校に於ける勉强でありまたそれを身につける方法でもある。常に試驗などというものは末梢的なものでなければならない。その點、生徒の自覺を促すと共に、期末考査に對する再檢討と、あく迄生徒の研究心を刺戟するという方向への授業の行なわれん事を要望する。

近い冬休みを身邊の物事に對する批判と反省の機會として來たるべき三學期に資する準備期間として有意義に利用されん事を望んで止まない。

大會出場に承認を
代議員會報告

本紙前號の國体資金カンパに關する記事が相當の反響を呼び、又校長先生からの御希望もあつて、代議會では、去る二十七日會合を開き、懇談會形式で代議員の意見を腹藏なく發表して、お互に考え合おうという趣旨の下に、學校側からは校長先生他二三の先生の御列席も戴いて、會議を開いた。議長として三年生の小花和君が選ばれ、先づ藤尾君の、記事に對して大いに共鳴を感じるという意見によつて皮切りされた。續いて寄附が多すぎる、運動部を甘やかしている。授業を脫けたり資金調達に奔走したりせねばならない様な無理の多い活動はやりすぎである、選手の態度は感心しない、選手制度は疑問だという様な强硬な意見が出たが、これは運動部の反省と學校側の一考を要する問題であろう。一通り運動部への苦言が出切つた後、中野君より自治會の知らぬ間に資金カンパが行われるというのは怪しからぬ、カンパの對象が誰であるにしろ、自治會側への通達がなければならぬ、又生徒の支援のない様な出場はしない方がよいという發言がありこれに關して、太田君が運動部の大會出場は自治會で承認された資金が集まつた後、決定されるべきだと述べた。

こゝで校長先生から、こういう機會を持つことは良い事である、又大部分の意見には賛意を表するとの御感想の發表と、相當長時間に亘る御說明があつた。要旨は次の如くである。國体等の大會はあるべきものであるが、この種の大會への出場は、當然自治會の承認を必要とし、今後そうしたい。そこで出場資金は、學習方面、文化方面に使うべき豫算とは別に作るのが當り前であると思い、不足分をカンパに頼つたので、自然目立つ樣になつたのは致し方ない。併し、自治會への手續を怠つたことは反省する。その方法も回數が多かつたこともまずかつた。寄附は生徒を對象にしたものでなく、それに後援會や、育友會が始めたもので學校は手傳つただけであり、その寄附も半强制的などというものでなく、單なる勸誘であつたという事を納得して欲しい。後、庄田會長の蘆高生の精神的結びつきを强調する言葉があり、この問題の解決と円滑化は新執行部に任そうということで解散した。

裏表獨語

◇物事は時が經つとだんだんぼやけてくる。そして知らぬ間にほんの一寸周圍の樣子が變わつているものである◇新聞紙上を賑わした事件も數ケ月たてば大低の人から忘れられる。腦細胞の變形が元へもどるためなら致し方ない。しかしその忘れられた事件の殘して行つた波紋がわずかではあるが岸の形を變えた事に氣のつく人はあまりない◇日本史上空前の大變動といわれる明治維新に於てさえ、その政治權力は單に將軍と天皇を置き換えたものにすぎないのだ。そして數年前やつと民主主義の段階に達したばかりなのだ◇すべて變化というものは何事もない樣でも除々に、急なようでもゆつくりとおこつているものなのだ。とかく我々は表面的な現象に眩惑され易い。もつと底流を見極める訓練を積む必要がありはしないだろうか◇一寸したきつかけのある度にほんのわずかずつ動くのを見逃していれば相手はじりじりと迫つて來て氣のついた時には斷際へ押しつけられて見動きも出來ぬ樣になつてしまう◇我々は些細な出來事だと云つて決して看過してはいけない。ということはつまらぬ事を一々ほじくつて文句をつけよという意味ではない◇事象と事象のつながりを、注意して大局的に客觀情勢を眺めそして必要あらばいかに些細な事であろうとも直ちに處理しなければならないのである◇明日の我々が、日本が、世界がどうなるかという事は、學園史、日本史、世界史の一環として、昨日今日の出來事から判斷しなければならない。そして持つべきものを守らねばならない◇物事はぼやけぬうちに早く片付けるべきである

自治會崩壞の危機か

代議員會の無能

代議員の奮起を望む

最近、自治會が順調に行っていない、むしろ退歩しているのではないかというような心細い聲を聞く事が多い。相應じて代議會の自主性の不足を非難する言葉が度々耳にされる。この二つの氣掛かりな評判がもし本當であってはっきりした形に表われるような事があるとするならば、これは發展途上にある蘆高自治會にとって捨てゝ置けない、嘆くべき、否惧るべき問題である。自治會という大きな團体の機構の中で、實質的に最も重要な器官であり、自治會全体をリードして行かなければならない代議會の現状がどうであるか、自治會の疾病狀態の根源をさぐって、二年生某代議員にその實情を聽いてみた。

「最近の代議會は誠に見るに堪えない程無意志で不活發だ。これは私自身とても反省しなければならない点であるが。私は蘆高入學以來二年近く代議員を勤め、我々の自治に參與すべく度々の代議會にも出席したが、その度に感じるのは、執行部が自治に對して非常に積極的であるに反し代議員諸君の大多數が極めて消極的だと云う事である。出席率は常に低調で、各組から二人以上はおろか一人も出て來ない組もあり、全くその良識と責任感の缺如は甚しい。今迄に定員に滿たない爲に、何度流會になった事だろう。三回招集があれば二回は流れてしまう。成立する時でも、半數を越えることわずか一人二人という場合がほとんどでいつでも又お流れではないかとひやひやさせられる。

席上での發言も、またこれ至って少なく、發言者はいつも同じ人ばかり、その人達と執行部との激しい應酬がある時でも、他の多數の代議員はあく迄も沈默を固守したまま閉會が宣せられる迄、幾十分か幾時間かお人形のようにぼんやり座っている。特に一年生の代議員諸君にはこのような狀態の人が多いように見受けられる。提出された議案があらゆる角度から徹底的に研究され論議し盡される事という事は稀である。いや全然ないと云っても過言ではあるまい。少數の代議員が討議するのみで、多數の代議員はまるで傍觀者的態度を以て終始しているのであるから。從ってこれら代議員諸君によって代表されている筈の生徒の意見が、執行部の政策に充分反映されるという事がない。執行部の方針が一般の自治會員から遊離し勝ちになる原因の一つはこれであろう。蘆高自治會を啓蒙しその先導ともなるべき代議員會がこれでは困りものだ。先生方の不信を招くのも道理である。神戸高校自治會をあのような狀態に陷し入れた協議會なるものゝ無力が好い例だ。あの轍を踏まぬよう代議員諸君の猛省を强く促したい。」

一年生の代議員の中には、擔任の先生から指名されてなった者もあると聞く。しかもそれが度々變更されるそうである。ホーム・ルーム內の事情がよくわからなかった當初は別として、果してこんな事で學園の自治が保たれるのだろうか。執行部に牛耳られるような事なく、蘆高自治會の大黒柱としてしっかり立つ樣望みたいものである。

新役員點描

山村會長　これは口から先に生まれてきた（口の動きは二つありますぞ）ような男、萬事拔目がないが無性に手足を動かしたがるので、新執行部にはいささか惱みの種。しかし口八丁手八丁ばかりでなく隠れた小心な程の誠實さも買ってやらねばなるまい。

月足副會長　美化を唯一の目標に一年間歩み續けようという眞面目で生一本な男。彼の音樂的センスが着實な實行力の上に如何に生かされるかが見物。体つきの如くなかなか頼もしい。

增山副會長　彼女のしとやかな性格とつきる事なき体力がその明哲な頭腦と勤勉さを十分生かして蘆高の目と耳を飽かしめないであろう。ほのぼのとした母性的愛情と円滿な人格の持主。

伊藤書記長　やや薄志弱行の嫌いはあるが實直明哲なスポーマン。そのしからしむる所かりその絶對つけないところに書記長としての適性がある。一方、二年生屈指の頭腦は執行部の智慧袋としての存任を大いに買われる。細かい神經の使い方が今後の活動に表われる事を期待してやまない。

稲垣執行委員　來年は中堅となる一年生の代表として赤信號に氣を配り着實に後片付けをして行く役にはぴったりのタイプ。今年は縁の下の力持を頼みたいところ。

伊藤執行委員　ちょっと澄ましているが、辯論も打算も人並以上で會計には適任。鐵のように堅い意志を必要とするポジションに於て、彼女が如何に試練に耐え得るか、一つ器の堅いところを見せて欲しいものである。

太田執行委員　上っ面はこんにゃくのようだが中味はなかなかしっかりしている。ラグビー部で鍛えた押しが物をいう時であろう。持前のユーモアで蘆高自治會の潤滑油的役割を望みたい存在である。

上野文化部長　やゝ鋭いところに缺ける嫌いはあるが、圖体も態度もなかなか堂々としている。しかし一方その要領の良さも見逃せない。執行部に於てその尻の重いところが適度のブレーキとなるであろう。

金井運動部長　人には容易に動かされない剛愎な强い氣性は捨て難い。又、彼の短距離に於ける蘆高一のスピードは當を得た氣取さとなって表われており、一面頭のよい外交家でもある。實行力には信頼が置ける。

新會長に就任して

山村耕造

豫想外苦戰の選擧戰を經て感傷的なよろこびより今後の一年間の重い責任を感じる。しかし、私は決して弱音をはかぬつもりである。どうかして、いわゆる石にかじりついてもやりとげよう、やりとげねばならぬといふ決心を持つ者だ。一方私は何か心の中に輕快な音樂を感じる。仕事への快よい歡喜が高鳴っているのだ。しばらくは私たちは夢中になって仕事をするだろう。又その間に飽くなき大膽的ねばりの必要と私の考えている理想的な自治會への道を認識するだろう。ろ

私は、今度の自治會から實質上の新制高校になるという意味に於て新しい自治會であると思う。何故なら私達から新中で三年間學んだ者ばかりになり、來年度は六、三制の一環としての完全な新制高校が出來上り、全く新制度から脱却するわけであるから。こゝで私たちは、古い先輩のよき校風を育て、新しい蘆高カラーを作るべきだと思う。今の蘆高には、果して習慣的にやっていゝのか、惡いのか眞劍に討議されるべき問題が多い。これらに關しては溫故、知新の方針で築かれた確實な基礎が必要だと思う。であるから、イギリスの市民革命的な、いゝ意味での妥協の上に進取的な發展、改良を力を惜しまずに押し進めて行くべきであると思う。

國際的に非常に不安定な今日この頃、我々の自主性についてもいろいろの問題が加わってくると思う。しかし學生らしい態度で世俗の事象に超越し理想的自治會育成へ努力する事は今後の我々に新しく要請されるものだと思う。この問題や學校に於ける企画、財政面そしていかにして勉強するかつまりどうして教育本來の目的を達成するか等の冷靜さと愼重さを要する諸問題の解決も重要な仕事である。何かまとまらぬ抽象論になりかけたが、いかに大言壯語しても、私の一人よがりでは全くどうにもならない。

たゞ公僕としての力しかないので、蘆高生千五百の若い血が燃えわき上り、我々の自治會に對して協力と支援をしてくれない限り自治會の理想化はできない。少し偉そうな書き方になったらお許し願いたい。會長になったからといって人間が昇格したわけでないのだから。私も一蘆高生として、試驗の點も稼ぎ、雑談も飛ばす。不滿があれば公私共どしどし忠言をおねがいしたいし、又私自身も人格をみがく爲に一年間努力するべきだと思っている。閑話休題、我々の使命の前にあくまでも從順に力强く期待に沿い得るよう誠實に實行する事を諸君に敢て約束し諸君の自治會への愛顧を熱望しつゝ拙文のペンを置く。

講演會「歐米を巡りて」

仁田博士を招く

去る十一月二十九日午後四時より阪大教授仁田勇理學博士を講師に招いて、蘆高理學生ユネスコクラブ主催第一回講演會が開かれた。先生は結晶學に於ける權威で、此度スウエーデンのストックホルムで開かれた學會に化學部門の代表者として出席され、歐米各國を巡遊されてお歸りになったばかりである。

當日の講演は、專門的な話は一切拔きにして、いわば土產話的な肩の凝らないものであったので、私達も樂な氣持で聽く事ができた。

先ず、スエーデンを振り出しに、イギリス、西ドイツ、スイス、フランス等々ヨーロッパを一巡し、最後に米國へ飛んで、歐米各國の近況を、先生の印象を通して、眼のあたりに浮べる事ができた。

案外に困窮している英國、文化水準の高いスウェーデン、東ドイツとの對比が面白い西ドイツ、繪に描いたように美しいスイス、建築にも非常な關心を持つ藝術の香高いフランス等々薄暗くなる迄の二時間を樂しく過した。

尚、連絡不徹底の爲か非常に參加者が少なく、場所も變更しなければならなかったのは先生にも深くお詫びしなければならないし、生徒諸君が今後こういう事のない樣、もっと關心を持つようにして欲しいものである。

全縣下

自治會長連絡會に出席して

十二月一日、神戸星陵高校で、縣下高校自治會長連絡會が開かれ、本校からは庄田前會長と新會長である私が出席した。當日星陵高校に於ては特別の催しで、各部クラブ活動を見せていただいた。

まず文化部では、蘆高にある各部は勿論、タイプ部、産業調査部、日本を知るにはまず中國をと云う意味かどうか知らぬが中國研究部、それに速記部の活動はすばらしく、文藝部の活發な創作振等色々變った点も多かった。

六甲をのぞむオゾンに富むすばらしい運動場に目を轉ずると、野球、ラグビー、テニス、サッカー等、これもすばらしい活躍ぶり。運動部は全ての部（バドミントン部、フェッシング部を含む二十あまりの部）が滿員の盛況であるそうだ。それもそのはず、自治會員たるものは全員、文化運動どちらかの部へ必ず入らねばならぬ規約があるという。

十時より議事に入った。五十人は越えているであろう代表者達が、當初より色々な問題の討議に移る。まず文化祭、自治會豫算、クラブ活動と勉強の關係等には相當の批判が出、主に自校のものを紹介したりした。又、連絡會の今後の運營について、私の提議した各校生徒の意見を直接持ち込みそして連絡會をより有力に發展させる爲に討議形式を採用せよという意見と、西脇高校のあく迄も單なる相談會にするとの意見が對立したが、兩者折衷論がとられ、必要に應じて變更することに決定し、以後各校の具体的な催しや、基底方針を批判し合ったが、議論百出する中に、我が校の文化祭、代議員會、クラブ活動等をすべて他校の自治會長連が熱心に筆記し感心している圖をみると、庄田前會長と二人、大いに得意の念を禁じ得なかった。色々批判をしてもらったが、本校のものが、縣下優秀校に決してひけをとらぬ自治會であり規約であると確信し今後の運營に寄與する所多大であった。この連絡會に出て得たもう一つは、「今の蘆高自治會」は、順調な歩みを續けていると云う自信を與へてくれたことだ。

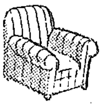
その歸り道、振り返って、丘陵の上の四階建の星陵高を遠く望見しながら、今日は得る所の多い一日であったと感じた。（山村耕造）

投稿歡迎

出版部よりお知らせ

新に再出發致しました出版部ではその整備と擴充に努力しつゝありますが、生徒諸君の意志と希望を盛った新聞を作りたく念願し、廣く投書、投稿を求めております。冬休みを利用して、ボリュームのある記事をふんだんにお寄せ下さる事を望んでおります。どんな種類の御投稿でも歡迎致します。又、新聞に對する感想や希望がありましたらどしどし御知らせ下さい。尚投稿、投書は各ホーム・ルームの出版委員又はその他の出版部員に託して下されば結構です。新聞の發展の爲の皆樣の御協力を期待して止みません（伊藤）

圖書館便り



新設立圖書館が開館になったのが十月十日。それから約二ヶ月經った今日までには、設備、內容共に充實し、着々整備されつゝある。藏書も四六六八册に達し、新しい書架、雜誌棚等も整い、又縣下でも二校しか使用していないというバーテイカルファイル（パンフットや其他の切り拔きを整理するもの）も使用され閲書豫約制度を實施する等著しい發展を遂げているのである。

○建物

總坪數	五〇坪
閲書室	二六坪
書架室	一五坪
司書室	七坪
玄關	二坪
收容人員	六六名

○藏書册數及比率

部門	册數	比率
000	682	14.6
100	152	3.3
200	558	12.0
300	344	7.2
400	690	14.8
500	129	2.8
600	45	1.0
700	423	9.1
800	204	4.4
900	1441	30.8
合計	4668	

（比率の單位は%）

○閲覽狀況

入館者　一日平均約三百名

館外貸出　一日平均約五四名

【讀書傾向】

近頃どの樣な書物が多く讀まれているだろうか、學年別、男女別に統計にしてみた。やはり文學が各學年を通じて壓倒的、その次が自然科學となり、最も讀まれていないのは產業である。ではその結果を次に記しておく。尚十一月六日—十二月四日までの期間である。

		文學	語學	藝術	產業	工學	自然科學	社會科學	歷史	哲學	總記
一年	男子	162	5	18	3	4	26	18	21	1	12
	女子	128	0	3	0	0	14	3	2	1	2
二年	男子	58	6	9	0	9	38	3	11	3	4
	女子	93	0	4	0	6	22	9	5	5	3
三年	男子	32	12	5	0	3	12	5	27	6	1
	女子	61	1	2	0	2	8	2	8	1	3
合計		534	24	41	3	24	120	40	74	17	25

新刊書紹介

田中千代	「私の衣服研究」	婦人畫報社
伊東　洋	「私の洋裁教室上・下」	婦人畫報社
潁原退藏	「芭蕉俳句新講上・下」	岩波書店
G・サートフ	「古代中世科學文化史」	岩波書店
長田　新	「原爆の子」	岩波書店
時枝誠記	「日本文法（口語）」	岩波書店
頭友　毅	「日本近世文學史」	岩波書店
井本農一	「奥の細道新解」	明治書院
無着成恭	「山びこ學校」	青銅社
ヴァンワイック・ブルックス	「花ひらくNew England」	三笠書房
研究社	「受驗年鑑（二十七年版）」	研究社
青野壽郎他	「人文地理事典」	古今書院
世界文學全集第二十九卷　モーパッサン	「ピエルとジャン」	河出書房

透視

女生徒よ美化の味を知れ

蘆高の自治會所有のクラブ活動に於て、最も健闘しているのは美化部であると云っても過言ではなかろう。それは全く地味な存在ではあるがその精神の自主性に於て全く他を壓している筈である。全くの美の心より發し、延身して掃除に盡くす美化部、この樣な素晴しい部は又とない筈である。校庭の隅に植えられた一本の木でさえこの學校に生活する者の心を明かるくして呉れるではないか。進んでゴミに向かう美化部員の心それ自身が蘆高の唯一の美ではないか。然るに、その部員の顔振れを覗いて見て全く驚かせられる。何故と云って諸君は極くおしとやかなお孃さん方を想像するであろうが、實の所彼等は男子ばかりの集り、しかも不斷決して溫順な者の集りではないからだ。それなのにこの美しい心はどうであろう。全く我々は敬虔な氣持で彼等に頭を下げざるを得ない。たゞ此處で一つ殘念な事は、せめて、この部に紅一點でも交われば、現在の部員の氣附かぬ細かな所、女だけの氣附く所が分り、ますます円滑ならしめ、以て、一層蘆高の美化を發展させ、ひいては蘆高自治會の誇りともなるであらうにと云う事だ。女生徒は發起して、美化運動に參じよ。ポスターや標語でゴミは拾えない。先づ行動だ。蘆高の美化は。今からだ。女生徒の美化に自覺める事を促し且つ、より美しき蘆高が生れるのを念願している者の聲をあげておく。

圖書館では靜肅に

圖書館に入ると、何時も感ずる事だが、非常に騒がしい。圖書館とは單なる集會所だろうか。いや決してそんな所ではないはずだ。高校生ともなればそれぐらいの自覺はあって然るべきである。司書の方が「靜かに」と注意される。とその時一應は靜かになる、が又すぐ騒がしくなる。私達はこれでいゝのだろうか。反省をする必要があると思う。これから寒くなるとブランクの時間等圖書館へ行く率が多くなるだろう。そんな時には、各自が自覺を持って單なる集會所にせぬ樣希望する。

選擧統計

一九五二年度蘆高自治會役員選擧に關する統計が次の通り選擧管理委員會から發表された。

有權者總數　一四〇八

一年　五二二

二年　四九三

三年　三九三

投票總數　一二二六

一年　四八九

二年　四三七

三年　二九〇

投票率　八七・五％

一年　九三・七％

二年　八八・六％

三年　七三・八％

完全無効投票數　二七

有効投票總數　一一九九

編輯室

▽何とか二面の新聞を埋めてみたものの見たところ良い出來榮えだとは義理にも云えそうにない。編輯者が不馴れで至らなかったのはお詫びする。この號の經驗を今後の編輯に生かして出來得る限りの勉強と努力を惜しまないつもりである。

▽試驗が迫った爲か、投稿は勿論、依頼した原稿さえ集まらず、出版部員がほとんど動いてくれなかったのは遺憾であった。次號よりの協力をお願いする。新聞に對する希望感想、及び一般の投稿を望んで止まない。（A）